

	児童の実態	改善プラン	改善プランの評価方法
国語	<p>①自分の経験や思いを文章で表現しようという意欲が高まっている。相手に伝わるように、「はじめ・中・終わり」や主語と述語、接続詞を意識して文章を書く力を付ける必要がある。</p> <p>②漢字の字形に気を付けて丁寧に書ける児童が多い。既習の漢字を、生活の中で正しく使う力を付ける必要がある。</p>	<p>①生活科と関連させるなど目的意識がもてる作文への取り組みを通して、文章を意欲的に書く機会を多く設ける。<u>友達と共有する機会</u>を設け、互いの文章のよさに目を向けられるようにする。</p> <p>②言葉集めなどを行い、<u>語彙を増やし</u>たり<u>言葉への関心を高めたり</u>し、学習した漢字を積極的に使おうとする意欲をもてるようにする。<u>書いた文章を自分で読み返す習慣</u>を付けられるようにする。</p>	<p>①「書くこと」は、ノート・作文で評価する。</p> <p>②授業中のノートやワークシートで評価していく。</p>
算数	<p>①繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのひき算が定着していないため、今後も適応問題を行っていく必要がある。</p> <p>②長さやかさ、時刻と時間など、測定領域の学習において、量感を育むことや、単位をそろえるという意味について児童が理解できるようにする必要がある。</p>	<p>①授業中や宿題で繰り返し練習し、計算する力を身に付けられるようにする。</p> <p>②児童の量感を養う活動を授業の中で取り入れ、計器を用いて測定する経験や、身の回りのもの大きさや量を調べる機会を設定することで、<u>単位の仕組みについて理解を深めることができる</u>ようにする。</p>	<p>①②授業中の様子、ノート、テストを中心に評価する。</p>
生活	<p>①学区域や野菜の栽培についての興味・関心を高めることができたため、人々との関わりを増やせるようにする必要がある。</p> <p>②学校探検で1年生を案内したことで、「うごくおもちゃ」を作り1年生を招待して楽しんでもらいたいという気持ちが見られる。</p>	<p>①町探検を通じて、学区域のお店など校外での活動を積極的に取り入れ、<u>人との関わりや体験活動を増やしていく</u>。場合によっては、ICT（ZOOM、動画等）を活用し、地域との結び付きを強められるようにする。</p> <p>②教科書に載っている「うごくおもちゃ」だけでなく、自分たちで考えながら、作りたい、作ってみたいという気持ちを高められるようにしていく。</p>	<p>① 授業中の発言や学習カードなどで気づきを見て評価する。</p> <p>②どうしたら楽しいかを考えながら、改良したり、工夫したりしている行動を見て評価する。</p>
体育	<p>①様々な運動遊びを通し、体を動かす楽しさを感じることができている。</p> <p>②遊び方を工夫したり考えたことを友達に伝えたりできるようにする必要がある。</p>	<p>①場や規則の工夫を行うことで、運動が苦手な児童も積極的に体を動かせるようにする。</p> <p>②よい動きやふり返りを行っている<u>児童の言葉を全体で共有、称賛して価値付け</u>、様々な動きが経験できるようにする。</p>	<p>①目的意識を明確にし、運動時の行動観察から評価をする。</p> <p>②運動時の行動観察とともに、ワークシートのふり返りを活用して評価する。</p>

道徳	①自分の生活と内容項目をつなげて考えられるように指導する必要がある。	① 授業の中で、自分の生活と向き合い自分ならどのような行動や実践をするのか考えたり、話し合ったりする時間を多く取り入れる。	①価値項目について考えたり感じたりすることができたか、授業中のワークシートや発言で評価する。
特別活動	①係や当番活動では、自分の仕事を一生懸命に取り組む児童が多くいる。 ②話し合い活動では、自分の考えを意欲的に発言できる手だてが必要である。	①一生懸命活動している児童の良さを具体的に称賛し価値付ける。同時に、よりよい学級にするためにすべきことは何かを学級全体で共通理解を深める。 ②普通の学習の中で言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める。事前に考えを書かせ、思いを表現できるようにする。ICTを活用し全員の意見が閲覧できるようにする。	①係や当番の仕事について、振り返りの時間を設定し、相互に評価し合う。 ②意見を発表できたか、相手の考えを聞くことができたかなどを、話し合い活動の様子や振り返りカードを用いて、評価する。
音楽	①リズムに合わせて体を動かしたり友達と声を合わせて歌ったりすることを楽しんでいる。歌声や音程への意識を徐々に高める必要がある。 ②鍵盤楽器に興味をもち、意欲的に取り組む姿が見られるが、習熟には個人差がある。	①歌声や発音に気を付け、 <u>声を合わせて歌う技能を段階的に身に付けられるようにする。教え合いながら技能を高められるよう</u> 、授業展開を工夫していく。 ② <u>指使いを確かめる時間を確保し、丁寧に個別指導をする。楽しみながら繰り返し活動できるように活動を工夫する。</u>	①授業での様子を見て、評価する。 ②定期的にテストやグループ発表を行い、評価する。
図工	①絵を描くこと、製作することが好きな児童が多い。想像力を膨らませ、作品を作ろうとする意欲がある。友達や教科書を真似る児童も多いので、たくさん考える時間を設定する必要がある。 ②はさみや糊等の道具の扱いも上手になってきたが、絵の具の扱いに個人差がある。	①製作に取り掛かる前に、 <u>個人やグループ、学級全体で想像を膨らませる時間を長く設け、共有する。</u> ① 絵の具の扱い方を繰り返し指導し、個別でも声掛けをする。	1 グループや学級全体で共有している様子を観察する。 ②授業での様子や作品を見て、評価する。